

各位

上場会社名 株式会社 フェリシモ
代表者 代表取締役社長 矢崎 和彦
(コード番号 3396)
問合せ先責任者 執行役員 経営企画室長 宮本 孝一
(TEL 078-325-5555)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,197	631	674	661	95.24
今回修正予想(B)	29,280	850	910	990	142.45
増減額(B-A)	△917	218	235	328	
増減率(%)	△3.0	34.7	34.8	49.6	
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	30,906	△499	△493	△7,548	△980.28

修正の理由

平成30年2月期の当社グループの売上高は、29,280百万円と期首の計画を917百万円下回る見通しとなりました。定期便(コレクション)事業では、上期は計画を上回って進捗していましたが、秋以降は冬物ファッションの販売は好調であったものの、配送料の上昇を受けて顧客に負担いただく送料を値上げした影響等もあり、下期は新規顧客や復活顧客の受注が想定を下回り通期の売上高も計画を下回りました。新規事業の分野では、概ね前期を上回って推移しておりますが、予定していた物流支援事業の契約の遅れ等もあり、目標に届きませんでした。

売上高が計画を下回ったことで、売上総利益も計画を下回りましたが、新規事業の分野で見込んでいた販売費が予定よりも減少したことや投資計画の変更や効率化による設備費の減少等により販売費及び一般管理費が期首の計画を下回り、営業利益は850百万円と期首の計画を上回る見込みとなりました。営業利益が改善したことにより、経常利益も910百万円と計画を上回る見込みです。

また、当第4四半期会計期間に、当社が保有しオフィスとして使用しておりました資産を売却したこと等による固定資産売却益90百万円を計上しております。

これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、990百万円と期首計画を上回る見込みです。

※上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以上